

ひこね 市議会だより



「議会報告会を開催しました!」

①第27回（平成31年1月26日）

②第28回（平成31年2月4日）

③第29回（平成31年2月17日）

平成31年2月臨時会（2月14日）

平成31年2月定例会（2月25日～3月20日）

平成31年3月臨時会（3月28日）

- 議会報告会 2、3
- 2月臨時会・定例会で決まったこと… 4～9
- 代表質問 10、11
- 個人質問 12～20
- 決議案・当初予算案 21
- 3月臨時会で決まったこと… 22
- お知らせ 20、23、24

わかりやすく開かれた 議会をめざして

第27・28・29回
議会報告会

～議会報告会を市内3会場で開催～

ミシガン州立
大学連合 日
本センターの
学生の方々に
もご参加いた
だきました！

平成31年1月26日(土)、
2月4日(月)、2月17日(日)
に第27回、28回、29回「彦
根市議会 議会報告会」を開
催しました。

どの会場でもたくさんの
ご意見やご提言をいただき、
参加者の皆さまの思いやお
考えをお聞きすることがで
きました。

寄せられたご意見やご提
言をこれからの議会活動に
生かし、さらなる議会の活
性化につなげてまいります。

ご参加いただきました皆
さま、誠にありがとうございました。

第27回 1月26日(土) 参加者120人

ビバシティ彦根1階センタープラザ

テーマ：「ひこねの防災について考える」

「ひこねの防災について
考える」をテーマに参加体
験型として、子どもたちにも
理解してもらえよう、ク
イズを行ったり、防災食の
試食、防災グッズ、カード
ゲーム、まちがいさがし等
のコーナーを設けました。

「ひこにゃん」や「ビバ
ツチエくん」も応援にかけ
つけてくれて、多くの方に、
各コーナーで熱心に体験い
ただきました。



〈シールの数〉

「面白かった」 55枚
「普通」 4枚
「面白くなかった」 3枚

アンケートコーナーに「面
白かった」・「普通」・「面白
くなかった」という3つの
枠を設けた模造紙を設置し、
参加者の方々にシールを貼
り付けていただきました！

第28回 2月4日(月) 参加者22人

中老人福祉センター2階大集会室

テーマ：「あなたの出番です。かがやくシニア世代のために」



3 テーブルに分かれてワークショップ形式による意見交換を行いました。

最初に、各テーブルで「あなたの出番です。かがやくシニア世代のために」に関する課題を話し合い、その後、課題に対する解決策を参加者全員で模索しました。



参加者の感想

・ 本日は参加できてよかったです。

・ 提言を議論し、具体化してくださることを切に願っています。

第29回 2月17日(日) 参加者35人

ビバシティ彦根2階研修室1・2

テーマ：「彦根に住みたくなる5つの政策」



参加者の感想

・ 普段できない経験ができ勉強になった。また参加してみたい。

- 「彦根に住みたくなる5つの政策」をメインテーマに、会場では以下の5つの個別テーマに分かれて意見交換を行いました。
- ① 100歳まで元気であるために100歳まで生き生きと元気でいるためにどうすればいいか
 - ② 子育てをしやすい環境は（教育を含む）より良い子育て環境や学力向上のためにどうすればいいか
 - ③ 高齢者が動きやすいまちにするために高齢者が移動しやすく住みよいまちにするためにはどうすればいいか
 - ④ 彦根のいいところは何？どのようにして発信すればいいか
 - ⑤ 彦根の観光戦略についてインバウンド誘客



2月14日に開催した2月臨時会の結果についてお知らせします。

議案1件を原案のとおり可決しました。

2月臨時会の結果

議案第1号に対して4名（谷口典隆議員、北川元気議員、獅山向洋議員、山内善男議員）から個人質疑がありました。

2月臨時会 議案の審議結果

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	辻真理子	獅山向洋	北川元気	谷口典隆	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤勝	安居正倫	西川正義	馬場和子
議案	1	調停の成立につき議決を求めることについて	可決	●	●	●	●	○	○	○	ー	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	1	和解および損害賠償の額の決定について
	2	損害賠償の額の決定について

2月定例会の結果

3月20日に閉会した2月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計予算案1件ならびに決議案1件を否決。一般会計補正予算案など予算関係19件、条例関係41件、その他議案1件を原案のとおり可決しました。

予算常任委員会

平成31年度（2019年度）

彦根市一般会計予算を否決

予算常任委員会は、2月25日、3月8日、11日、12日、18日、20日に委員会を開催し、20件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号
議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号
議案第10号、議案第11号、議案第54号、議案第55号
議案第56号、議案第57号、議案第58号、議案第59号
議案第60号、議案第61号、議案第62号、議案第63号

【主な内容】

○議案第3号に対する質疑

Q 枠配分方式はどのようにして決めたのか。

A 義務的経費を除いて各部に削減を求めた。

Q 「住もうよ！ひこね」リフォーム事業の復活はあるのか。

A 消費税増税後の経済状況を見て検討する。

Q 公務員の短時間勤務化等、教育費の中の人件費削減をどう考えているのか。

A 今後の児童数の推移を見て検討する。

○議案第3号に対する討論

反対 枠配分方式として87事業約12億円の削減を行ったが、市民生活に及ぶ事業や花火大会等の伝統・文化事業を取りやめたこと、新市民体育センター予算においても当初より大幅に増額したこと、全体予算においても各部署の意見を取り入れていないことにより反対する。

【結果】

・議案第3号は否決。他の議案については、すべて原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

付託議案15件はすべて可決

福祉病院教育常任委員会は、3月13日に委員会を開催し、15件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第21号、議案第22号、議案第24号、議案第25号
議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号
議案第34号、議案第35号、議案第36号、議案第37号
議案第38号、議案第39号、議案第40号

【主な内容】

○議案第22号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、

議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号、

議案第37号、議案第38号、議案第39号、議案第40号に

対する討論

反対 市民に身近な使用料や手数料の実質的な値上げ

になることから反対する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根市観光駐車場条例の一部を 改正する条例案を可決

市民産業建設常任委員会は、3月14日に委員会を開催し、17件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第19号、議案第23号、議案第26号、議案第27号
議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第44号
議案第45号、議案第46号、議案第47号、議案第48号
議案第49号、議案第50号、議案第51号、議案第52号
議案第53号

【主な内容】

○議案第41号に対する質疑

Q 消費税の引き上げがなかった場合どうなるのか。

A 直近の議会にて改正条例を廃止。

○議案第53号に対する質疑

Q 廃止と認定について、地元への説明は。

A 告示処理するので事前にはない。

Q 地元自治会に支障が出た時、判断材料として周知の必要があるのでは。

A 地域への周知は内部で協議する。

○議案第48号に対する討論

反対 彦根市観光駐車場条例の一部を改正する条例案

においては、昭和53年から改正されていないとは言うものの普通車400円から1000円への2、3倍近い値上げに納得がいかないため、反対する。

賛成

どこの観光地でもそれくらいの料金は取られている。便乗にも見えてしまうが昭和の時代から値上げしていないのを考えるとやむを得ない。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

平成30年度および平成31年度における彦根市長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案など議案10件を全て可決

企画総務消防常任委員会は、3月15日に委員会を開催し、議案10件などについて慎重に審査しました。

【審査】

・議案第12号、議案第13号、議案第14号、議案第15号
議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第20号
議案第28号、議案第29号

【主な内容】

○議案第17号に対する討論

反対 地方自治法施行令違反に対する管理監督者としての責任の重大さを認識するなら、別の責任の

取り方がある。16カ月間、給与を50%減額する条例案を認めることは、市長の継続を間接的に認めることになるため反対する。

○議案第28号に対する討論

反対 条例の趣旨には賛成だが、「基本消防団員」が例外規定ともとれる条文の定義になっているため反対する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

【所管事務調査】

○本庁舎耐震化整備事業について

Q 耐震化のⅡ期工事のスケジュールは。

A 4月22日の開札後、5月臨時議会で契約議決を得て、工事完了予定は2020年9月末となる。

○継続調査・研究のテーマとしていた「彦根市のシティプロモーションについて」意見提言を行った。

議会改革特別委員会

災害発生時の対応要領および 行動マニュアルの策定等を行った

1月21日に開催した委員会では、3つの議題について議論した。

まず①災害発生時の対応要領、行動マニュアルについてプロジェクトチームからの報告を受け、委員会として内容を確認した。

次に②議会基本条例の検討として、議会報告会の呼称や在り方について議論し、今回は見直し不要と結論づけた。

続いて、③本委員会が優先的に取り組む項目について協議し、まず、災害発生時の議員行動マニュアルの策定については、名称も原文のまま検討項目にも残すことになった。

大学連携については、滋賀大学経済学部他にも市内には大学があることから、これらとの連携も今後検討が必要なことから、項目として残すことになった。

手話通訳の導入については、Aーを用いた同時通訳の方法もあることから、手話通訳等の導入と表記することになった。

議会ICT化の取組については、タブレット端末は既に導入しているが、新庁舎の完成までWiFi等の環境が整備されないこともあり、このまま残すことになった。

2月定例会 議案の審議結果

会期：2月25日～3月20日

■全員賛成の議案等

項目	番号	件名
議案	5	平成31年度(2019年度)彦根市下水道事業特別会計予算
	6	平成31年度(2019年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算
	7	平成31年度(2019年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算
	8	平成31年度(2019年度)彦根市介護保険事業特別会計予算
	9	平成31年度(2019年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算
	10	平成31年度(2019年度)彦根市病院事業会計予算
	11	平成31年度(2019年度)彦根市水道事業会計予算
	12	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案
	13	彦根市職員定数条例の一部を改正する条例案
	14	彦根市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案
	15	彦根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案
	16	彦根市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例案
	18	彦根市市税条例の一部を改正する条例案
	19	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	20	ふるさと彦根応援寄附条例の一部を改正する条例案
	21	彦根市城山観覧料徴収条例等の一部を改正する条例案
	23	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
	24	彦根市地域包括支援センターの人員および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	25	彦根市保健・医療複合施設の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案

項目	番号	件名
議案	26	彦根市旅館等建築規制に関する条例の一部を改正する条例案
	27	彦根市水道事業布設工事監督者および水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例案
	53	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて
	55	平成30年度(2018年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	56	平成30年度(2018年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
	57	平成30年度(2018年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)
	58	平成30年度(2018年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	59	平成30年度(2018年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
	60	平成30年度(2018年度)彦根市病院事業会計補正予算(第3号)
	61	平成30年度(2018年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)
	62	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)
	63	平成30年度(2018年度)彦根市水道事業会計補正予算(第3号)

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	3	和解をすることについて
	4	損害賠償の額の決定について



2月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長 退：退席)

項目	番号	件名	結果	辻 真理子	獅 山向洋	北 川元 気	谷 口典 隆	夏 川嘉 一郎	小 川喜 三郎	赤 井康 彦	安 藤博	八 木嘉 之	矢 吹安 子	奥 野嘉 己	野 村博 雄	小 菅雅 至	和 田一 繁	上 杉正 敏	中 野正 剛	山 内善 男	山 田多 津子	杉 原祥 浩	長 崎任 男	安 澤勝	安 居正 倫	西 川正 義	馬 場和 子	
議案	2	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	可決	●	●	●	●	○	○	○	—	●	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	3	平成31年度(2019年度)彦根市一般会計予算	否決	●	●	●	●	○	○	○	—	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●
	4	平成31年度(2019年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	17	平成30年度および平成31年度における彦根市長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	彦根市立保育所設置条例および彦根市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	28	彦根市消防団条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	彦根市男女共同参画センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	30	彦根市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	31	彦根市子どもセンターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	32	彦根市公民館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	33	彦根市民会館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	34	彦根市高宮地域文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	35	ひこね市文化プラザの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	36	みずほ文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	37	彦根市地域体育館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	38	彦根市立学校運動場照明設備の使用に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	39	彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	40	彦根城博物館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	41	彦根市地域総合センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	42	彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	43	宇曾川漁港漁船管理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	44	彦根市漁港等管理条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	45	彦根市農村環境改善センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	46	ひこね燦ばれすの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	47	夢京橋あかり館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	48	彦根市観光駐車場条例の一部を改正する条例案	可決	●	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	49	彦根市公園条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	50	彦根市駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	51	彦根市自転車駐車場条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	52	彦根市自転車等の放置の防止に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	54	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
決議案	1	大久保貴彦根市長の不信任を求める決議案	否決	○	○	○	○	●	●	●	○	退	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○



議案第2号 平成30年度(2018年度)彦根市一般会計予算(第8号)

市役所本庁舎耐震整備事業(2期工事)に係る債務負担行為補正を可決

ー平成30年度(2018年)から平成32年度(2020年)の期間における限度額を37億1,244万5千円とするー



現在の市役所本庁舎

反対の討論

本議案に賛成すると、市長の「その時々判断は間違いではない」という主張や、今後20億円以上必要となることを認めることになる。また、地方自治法施行令違反で契約解除した業者を次の入札で排除しないこと、新年度予算で12億円近くの事業

が削減される一方で、新庁舎建設は22億円も上がることになり、市長自らの出处進退と引き換えるべきであり反対するとの意見がありました。

賛成の討論

2月臨時会で調停の合意を可決し、次の入札は素早く進めるべき、市民会館の所属を早く本庁舎に戻すべきであり、事業費の更なる減額を申し入れ、賛成するとの意見がありました。

なお、この議案は、賛成多数で可決しました。

▼本件にかかる審議結果

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	辻真理子	獅山向洋	北川元氣	谷口典隆	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤勝	安居正倫	西川正義	馬場和子
議案	2	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	可決	●	●	●	●	○	○	○	ー	●	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○



質問者
和田 一繁議員

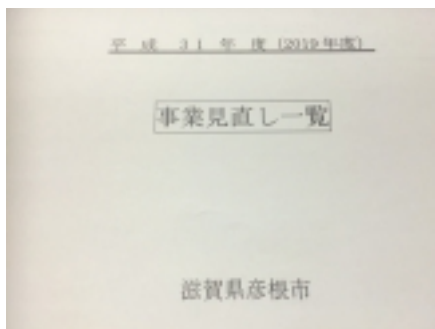
公 政 会

Q 市長が自ら説明する
場を設けるのか

A 各種の会議、
会合などで説明を行う

Q 平成31年度当初予算編成における、枠配分の考え方、および事業見直しについて、市民生活に直接的、間接的に影響を及ぼす事業については、見直しによって影響を受ける各種団体、企業等にどのように対応するのか。また、市長が自ら説明する場を設ける考えはあるのか。

A 市民の皆さまに一番近い各部局、所管課において、それぞれのタイミングで丁寧な説明を行うものと考えているが、地区別懇談の場や各種の会議、会合などの機会をとらえて、しっかりと説明をしていきたいと考えている。



▲平成31年度事業見直し一覧

Q 新市民体育センターの
防災機能とは

A 指定緊急避難場所
約3千人を想定

Q 新市民体育センターは、体育館機能だけではなく、健康増進・文化振興や市民の憩える居場所としての役割もあり、さらに、防災拠点としての役割も重要である。市役所本庁舎に防災拠点を置くと言うものの、災害時には果たすべき一定の役割がある。防災拠点として、市民の命を守る施設として、その機能および内容はどのようなものなのか。

A 一時的に避難する指定緊急避難場所として、2つのアリーナと多目的ホールに約1900人、駐車場に約1100人の合わせて約3000人の受け入れを想定している。また、一定期間避難生活を送る指定避難所として、メインアリーナで約1100人の受け入れ、サブアリーナは物資配送拠点、多目的ホールは救護・災害対策室を想定している。



▲新市民体育センターイメージ

その他の質問

・市長の政治的責任について
・彦根の教育・保育行政について
・彦根市立病院新改革プランの進捗について



質問者
矢吹 安子議員

夢みらい

Q 世界遺産登録への
今後の取組は

A 文化庁へは
平成32年2月頃提出

Q 彦根城は平成4年に世界遺産の暫定リストに登録された。近年さらに登録への機運が高まっている。推薦書原案は平成30年度末に文化庁へ提出予定と答弁があった。本市が作成したのは素案ではないのか。推薦書素案と推薦書原案の違いは。推薦書原案は県と市の連携で練り直すと記されているが、文化庁への提出時期、進捗状況。登録への県と市の連携について、今後の具体的な取組は。

A 推薦書原案は日本政府がユネスコ世界遺産委員会に提出する推薦書のもととなる書類。推薦書素案は基本となる考え方を整理した書類。文化庁が今年度は推薦書原案の募集をしないと発表したため、今年度には作成した原稿を推薦書原案の骨子として平成31年3月に文化庁に提出。提出後に示される課題の解決を県と市で連携し、推薦書原案を練り直し、文化庁の公募に際して平成32年2月頃に提出予定。



▲世界遺産登録を目指す彦根城

Q 国民スポーツ大会の
本市の負担額は

A 主会場周辺整備には
約13億9百万円

Q 本市の財政が大変厳しい中、以下様々な経費の本市負担額等について問う。市内で開催の4競技（陸上競技、ハンドボール、弓道、なぎなた）への負担額。陸上競技場等の施設整備は全額県負担での施工か。金亀公園連絡橋、競技場周辺の道路および河川の整備、さらに国スポまでに整備が予定されている国道306号バイパス整備に係る負担額、その他の国スポ関連事業費は。

A 本市で開催する4競技の負担額は約2億5千万円。陸上競技場等新たな施設には負担しない方針で県と協議中。金亀公園連絡橋には全体で4億円。主会場周辺道路河川整備費用に13億9百万円。県が実施する306号バイパスのトンネル工期は平成34年5月までで契約金額が約49億8千万円。これまでの市の負担金は約14億8千万円になる。その他国スポまでの金亀公園再整備事業には約7億1千万円。



▲(仮称)彦根総合運動公園実施設計平面図(案)

その他の質問

- ・平成31年度予算編成に係る方針について
- ・観光事業における見直しと今後
- ・教科としての「道徳」と教育事業の見直しについて

2月定例会個人質問

16人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

各議員が決める

質問の内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

Q 診療所の休診が多い木曜日への対応はできないのか。

A 木曜日は休診というイメージがあるが、診療をしている医療機関も多いことから、今後はこのような診療情報を市民の皆さまにお知らせできるように周知啓発に努めていく。

また、木曜日の午後の診療についても医師会の会議で要望があることを伝える。

A かかりつけ医の休診を理由として選定療養費を徴収しないこととした場合、本院へ受診者が集中し、急性期病院としての役割・機能に支障をきたすおそれがあるため、平常時同様に徴収する。

Q 子どもがインフルエンザにかかったが、木曜日でかかりつけ医が休診であったために仕方なく、彦根市立病院にかけつけた。この場合でも選定療養費を徴収するのか。



中野 正剛議員



診療情報を市民の
皆さまに周知啓発する

診療所の休診が多い
木曜日への対応を



▲地域医療連携とは

その他の質問

- ・彦根市立病院の近くに医療的ケアが必要な人のデイサービスセンター設置を
- ・図書館の宅配サービスについて



山田多津子議員



財政難の下82億円の
体育センター建設は無謀



市に有益な施設になると
確信している

Q これまで64億円と示されていた新市民体育センター建設費用が82億円になると示された。市民生活を犠牲にしてまで体育センター建設に巨費を投じることを市長はどのように考えているのか。

A 整備計画は幅広い方々の議論の下進めており、事業費の削減や財源確保に努めてきた。結果として新たに外構含み82億円になったが、市にとって有益な施設になると確信している。

Q 燃ばれずの解体費用は。
A 約1億円を見込んでいる。
Q 燃ばれず機能を有した地域交流センターを併設する計画だが、建設費用はいくらか。
A 面積按分による試算では約13億8千万円となる。

Q 危機的財政事情から燃ばれずは残し、体育センター建設計画は一旦立ち止まるべき

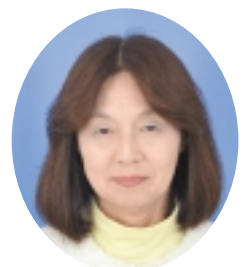


▶ ひこね燃ばれず

A では。
一日も早い完成を目指す。

その他の質問

- ・リフォーム補助制度の復活を
- ・生活をまらること相談できる窓口設置を



辻 真理子議員



花火大会を
開催できないとする理由は



駐車場やバス発着場、
警備員等の確保が困難

Q 花火大会の集客数は。
A 12〜13万人である。

Q 花火大会の経費は。

A 平成30年度は約1725万円の経費に対し、市の補助金は800万円である。

Q 花火大会を開催できないとする理由は。

A 国民スポーツ大会の競技場整備工事のため、駐車場やシャトルバスの発着場所が確保できず、また警備員の確保が困難で、防災・安全面の確保をした上での開催が困難であるため。

Q 北びわ湖大花火大会の県補助金は毎年長浜に出されるのか。

A 未定と聞いている。

Q 花火大会の実行委員会とは協議をしたのか。

A 実行委員会への報告や協議はしていないが、これまでに問題点は議論してきた。



▲ 芹町からの花火（左下は彦根城天守）

その他の質問

- ・各種施設の利用料の値上げについて
- ・財政調整基金への繰入について
- ・予算編成のプロセスについて

個人質問



長崎 任男議員

Q 平成31年度当初予算編成における削減内容、「事業見直し一覧」について、その内容をどういった形で市民や関係団体等へ周知していくのか。

A 個々の具体的な内容については、担当部局を通して、各事業の実施案内や説明会等の中で、市民の皆さまや関係団体等に丁寧に説明していかねばならないと考えている。

Q 理解を得るために、直接市長が向き説明されることはあるのか。

A 基本的には事業担当部局において周知していくこととなるが、市長が出席する地区別懇談会や会議等の中で、直接説明させていただく機会はあると考える。個別自治会に対しても、できる限り小さい単位で向き、説明や意見交換を丁寧に行う機会を作りたい。



予算削減内容の
市民への周知方法は



担当部局を通じて
丁寧に説明していく



▲予算関係資料

その他の質問

- ・ 予算編成における市長のリーダーシップについて
- ・ 副市長・教育長らの特別職の給与は現状のままで良いのか



奥野 嘉己議員

Q 新市民体育センター建設費用が従来の64億円（外構費除外）から総額82億円まで高騰したが、どのような庁内検討を行ったのか。また公文書公開請求で入手した資料では、議会への中間報告の提案が出ているが市長指示で先送りとなっている。なぜなのか。

A 昨年8月末から10月末にかけて協議を重ね、その後も財源の検討や見積りの精査を行ってきた。結果として議会報告は2月になった。

Q 僅か3回、延べ1時間半の協議で了承されているが市長の認識は。

A その都度丁寧に説明を受け、経過を含めて了承した。

Q なぜ財政面の体力に応じた建設計画ができないのか。

A 本市のまちづくりを担う施設として末永く市民にご利用いただけるように進める。



新市民体育センター
建設費高騰について



庁内協議で市長に
経過報告を行い進めた



▲市民体育センター

その他の質問

- ・ 中期財政計画について
- ・ 予算削減につき、より丁寧に多頻度の広報をもとめる



八木 嘉之議員



市債の活用は適切な
財政運営と考えている



行政改革推進債の
発行前に市長として英断を

Q 来年度予定されている、約7億7千万円の行政改革推進債は、緊急避難的な場合に発行する市債であるが見解は。

A 財政調整基金の残高が少なくなっている現状から、基金残高を維持することが適切であると判断したものであり、緊急避難的に発行せざるを得なかったものではない。

Q 行政改革推進の指針は策定されるのか。

A 来年度早々から策定に着手し、年度内の完成を目指す。

Q 行政改革推進債は、交付税措置もなく、発行にあたっては慎重な対応が求められる。

市長は、大型事業の中止や延伸により事業費の削減を英断すべきではなかったのか。

A 行政改革推進債は、一つの選択肢である。実際の借入に際しては、予算よりも少ない額になると考えている。



▲行革債の一部を財源として建設予定の新市民体育センター

その他の質問

・中期財政計画について



北川 元気議員



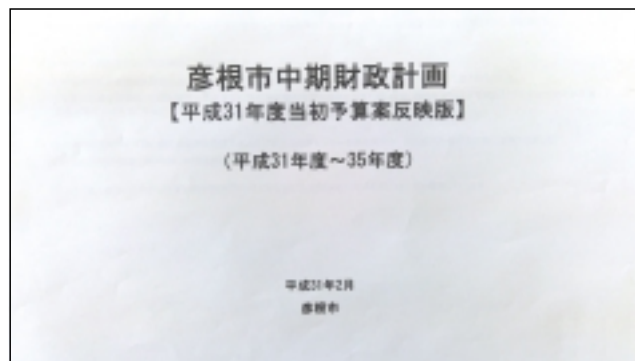
再試算の結果
約108億円となる



国民スポーツ大会
関連経費の総額は

Q 新たに見直し公表された中期財政計画では、平成31年度から平成35年度まで5年間の累積収支不足額は約90億円となっており、彦根市の財政は危機的状況である。2024年に彦根市を主会場として開催される予定の国民スポーツ大会の関連経費はどう見込まれているか。

A 国スポ関連経費の総額は、平成30年5月に公表した中期財政計画では、事業費ベースで約91億円であったが、今回新たに見直した計画では再試算の結果、約108億円となる。主な内訳は、新市民体育センター1建設事業82億円のうち計画期間中の費用として約79億円、主会場周辺の道路および河川改修事業として約5億円、主会場に約12億円、金亀公園整備事業として約12億円となる。



▲彦根市中期財政計画

その他の質問

・教員による生徒いじめの可能性がある事案について
・新市民体育センターの計画見直しをもとめて

個人質問



上杉 正敏議員

Q 小・中学校に簡易翻訳機を貸与しては。

A 教育委員会では、窓口に来られる外国の方に対応するために、簡易翻訳機を1台購入し、試験的に運用を始めたところである。今後は、簡易翻訳機の利便性やその効果を検証しながら、学校でも活用できないか検討していく。

Q 市役所の窓口で簡易翻訳機を設置しては。

A 市役所の窓口には、人権政策課のポルトガル語通訳2人および英語通訳1人が毎日、中国語通訳1人が週2日、通訳の支援を行っている。

今年の2月に人権政策課、各出張所、障害福祉課にテレビ電話を設置し人権政策課の通訳が各施設を支援している。翻訳機の導入については、先進自治体の状況を情報収集するなど検討していく。



利便性や効果を検証して活用を検討していく



小・中学校に簡易翻訳機を貸与しては



▲パケットークを活用している様子

その他の質問

- ・学校における防災教育の充実化について
- ・彦根市立病院の事業について



夏川嘉一郎議員

Q 今や、地球温暖化は世界規模の異常気象や災害を招来、真に末期的様相を呈し始めたともいえる。我々はこの危機を回避できるのか、世界は国連を中心に対策を駆使しつつあるが未だCO₂多出、温暖化止まらず。だが朗報もあり、世界各国の地方都市や企業がCO₂削減策に参加、我が国市の多くも、この方向で協力。改めて本市の協力姿勢を問う。

A 本市では市環境基本計画および地域行動計画に基づき、地球温暖化対策を掲げ、各種環境施策を推進している。

Q 今後の本市に求められるのは、環境先進市に見る市民、企業を対象に総合策としての対温暖化戦略の構築であると考え。当局の見解は。

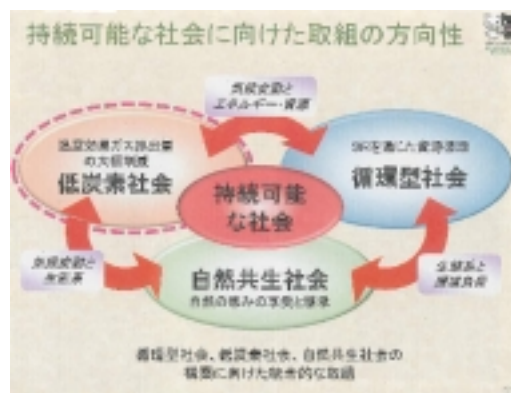
A 先進市を参考に、より優れた施策を検討していきたい。



各計画に基づき各種環境施策を推進



本市のCO₂削減等への協力姿勢は



▲持続可能な社会に向けた取組の方向性（参考：北九州市）

その他の質問

- ・福井原発再稼働の動き、稼働同意権は必然の要求では
- ・荒神山・森林園の「自然公園化」に向けた法的網掛け検討を



野村 博雄議員

Q 一般的な住宅地での消火栓の設置基準は。

A 消防庁告示第7号により、防火対象物からひとつの消防水利に至る距離が、120メートル以下となるように定められている。

Q 一般的な消火栓ボックスには、何メートルのホースが何本収納されているのか。

A 20メートルのホースが2本収納の場合が多い。

Q 万一火災が発生した場合、発生地点まで迅速かつ確実に届き消火できるのか。

A 隣接する消火栓ボックス内のホースを利用することで消防隊到着までの初期消火は対応いただけるかと考えるが、消火栓ボックスやホース等の整備に対する補助金の活用や、防火防災訓練の指導時にホースが足りない時の対応についての周知に努めていく。



▲よく見かけられる一般的な消火栓ボックス



消火栓や消火用ホースの設置は適切か



補助金の活用や適切な対応の周知に努める

その他の質問

- ・彦根市発達支援センターの現状と今後の取組について
- ・空き家対策の充実について
- ・河瀬公園について



谷口 典隆議員

Q 新年度予算における事業見直しについては枠配分方式をその理由とすることを禁じ、本来は市長が果たすべき説明責任についても各部署が行うようにとの指示をしたのか。

A 各部署に一定の予算枠を示して予算編成を行う予算枠配分方式を採用したため、事業の見直しについては各部署の中で、事業の精査等を行った。

Q 事業見直しの中で、小・中学校図書整備事業の削減額および見直しの理由は。

A 小学校費が約1125万円、中学校費が約767万円の削減で、主に図書購入費である。理由としては国の定める基準の標準冊数に達したことから事業見直しを行った。

Q 図書購入費の削減は将来に影響が出る。補正で対応を。

A 事業見直しの結果であるためご理解いただきたい。



▶新刊を紹介する城西小学校の図書室



事業見直しの説明責任は市長が果たすべき



事業の精査等は各部署が行ったもの

その他の質問

- ・高宮地域文化センターの管理運営事業は彦根駅東口の官庁街構想の事業進捗は
- ・京橋の修繕工事の県との交渉経緯は

個人質問



山内 善男議員

Q 図書館利用について、彦根市の一人当りの貸出冊数とそれは県内で何番目か。

A 51冊で19市町中18位。
一人当りの図書購入費は、235円で16位（H30年）
職員体制は十分か。

Q 21人で少なくともはないが、正規職員の司書資格者は県平均83%のところ56%であり、専門職確保が必要と考えている。

A 市の図書館のあり方は、現図書館、中央館、南部館の3館の配置が望ましい。

Q 市長の図書館建設公約は、基本計画に基づき進める。建設地、建設時期は。

A 中央館を河瀬・亀山学区に南部館を稲枝地域に。時期は財政が厳しく財源確保のため、国等の制度の動きを注視する。

Q 建設が見通せないなら貧弱な現状の改善をすべき。
A 耐震の工事を行う。



財源確保に国等の
制度改正を注視する



中央館・南部館の
図書館建設を早く

▼一人当りの年間貸出冊数と県内順位

年度	貸出数	県内順位※
H25	5.14	17
H26	5.18	17
H27	5.38	17
H28	5.17	18
H29	5.10	18

（※県内の自治体数は19）

その他の質問

- ・稲枝駅西側地区の8分の公園計画推進は
- ・一人暮らしの高齢者のごみ戸別収集は
- ・放課後児童クラブ業務委託契約再考を



獅山 向洋議員

Q 本庁舎耐震化整備事業は当初計画より20億円も増加し完成は2年も延びた。新市民体育センター事業は実施設計段階で18億円も増加した。市民の損害は益々増大している。

A 大久保市長が決めた新ごみ処理施設建設候補地については広域議会において白紙撤回の議決を突き付けられた。来年度予算では選挙公約を踏み外した多くの事業見直しで市民生活に経済・社会・文化的に大打撃を与えようとしている。大久保市長はこの責任を自覚しているのか。

Q そうした批判は大変重く受け止めている。

A 一旦、辞職して市民に信を問うのが政治家としての道ではないのか。

Q 厳しいご意見を推進力に変えて事業を進めて行く。信を問うことはない。



厳しい意見を推進力に変える、信は問わない



多くの失政につき
市民の信を問うべきである



▲予算関係資料

その他の質問

- ・本年2月の中期財政計画について
- ・新ごみ処理施設白紙撤回の議決について
- ・市立病院事務局長人事について



赤井 康彦議員

Q 彦根市が今後取り組み課題と考える

A JR南彦根駅にエスカレーター設置をすべき

Q 昨年の3月の議会において南彦根駅は市内JRで唯一エスカレーターが無い事を指摘した結果、JRとも協議していく旨の答弁があったがその後の経過はどうか。

A JR京都支社を訪れ、南彦根駅のエスカレーター設置について協議を行ったが、他駅の例では、改札外のエスカレーターは基本的に地元自治体の負担で設置されており、今後もJRにより整備されることは考えにくいとの事だった。

Q 彦根市がエスカレーター設置を考えていく必要があると思うがいかがか。

A 南彦根駅のエスカレーター整備は本市の事業として実施する必要があるが、新たな財源の確保や駅舎の構造的な検討、設置場所など様々な課題を整理し検討していく。



▲エスカレーター設置のないJR南彦根駅

その他の質問

- ・旧井伊神社社殿の今後
- ・彦根市の空き家対策について
- ・JR彦根駅のトイレの様式化を

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。平成30年10月から平成31年3月までの状況についてお知らせします。

年月日	議会名	視 察 項 目
30.10.17	兵庫県南あわじ市議会	・議会報告会について
30.10.19	広島県三次市議会	・議会運営、情報公開について
30.10.23	兵庫県篠山市議会	・議会報告会と議場モニターの活用について
30.10.24	神奈川県三浦市議会	・議場開放の取り組みについて
30.10.26	埼玉県所沢市議会	・滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携及び協力に関する協定について ・議会改革について
30.10.30	大分県大分市議会	・子どもの貧困対策計画について ・子ども・若者プランについて ・子ども・若者総合相談センターについて
30.11. 2	和歌山県海南市議会	・議会改革の取り組みについて
30.11. 5	岩手県花巻市議会	・子ども・若者プランについて ・子どもの貧困対策計画について
30.11. 6	埼玉県久喜市議会	・議会改革について
30.11.12	静岡県長泉町議会	・滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携および協力に関する協定について
30.11.13	千葉県市川市議会	・視察対応プロジェクトチーム、予算常任委員会の運営、議場開放事業について
30.11.14	鹿児島県霧島市議会	・議会概要について ・政務活動費の手引きについて
31. 1.16	宮城県名取市議会	・子ども・若者プランについて
31. 1.24	愛知県東郷町	・議会改革の取り組みについて
31. 1.29	兵庫県播但市議会議長会	・議会運営全般について

上記以外における2月定例会中の個人質疑等

議案第2号に対して6名（山内善男議員、北川元氣議員、谷口典隆議員、八木嘉之議員、野村博雄議員、獅山向洋議員）から個人質疑があった。
また、3月18日には、辻真理子議員から緊急質問があった。

大久保貴彦根市長の不信任を求める決議案を僅差で否決

決議案の趣旨

大久保彦根市長は、6年間彦根市政の決裁権者として、彦根市の行政を進めてきた。この間、市庁舎耐震補強・増築・改修工事における、地方自治法施行令違反である裏契約問題、川嶋前副市長の辞任騒動、百条委員会による真相究明等による工期の遅れが現在も続いている。また、選定過程が不透明な新ごみ処理場建設候補地の白紙撤回、さらに平成31年度一般会計における大幅な予算の削減は、市民生活に大きな影響を与えることは確実であり、教育、福祉、道路、観光予算等の削減・見直しを認めることはできない。少子高齢化のなかで、住みよい希望が持てる生活を願う市民のためにも市長の即時辞職を求め、市長の不信任決議案を上程する。

※不信任決議案の成立には、全議員の3分の2以上が出席し、出席議員の4分の3以上の賛成が必要となります。今回は、全議員の3分の2以上が出席していますが、賛成者が出席議員の4分の3以上（今回の場合は18人）に満たなかったため、否決となりました。

▼本件にかかる審議結果

(○：賛成 ●：反対 退：退席)

項目	番号	件名	結果	辻 真理子	獅 山 向洋	北 川 元氣	谷 口 典隆	夏 川 嘉一郎	小 川 喜三郎	赤 井 康彦	安 藤 博	八 木 嘉之	矢 吹 安子	奥 野 嘉己	野 村 博雄	小 菅 雅至	和 田 一繁	上 杉 正敏	中 野 正剛	山 内 善男	山 田 多津子	杉 原 祥浩	長 崎 任男	安 澤 正勝	安 居 正倫	西 川 正義	馬 場 和子	
決議案1号		大久保貴彦根市長の不信任を求める決議案	否決	○	○	○	○	●	●	●	○	退	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

平成31年度当初予算案（議案第3号 平成31年度（2019年度）彦根市一般会計予算）を反対多数で否決

平成31年度当初予算案全体について、予算編成における枠配分の考え方、市長特別枠の内容、および事業見直しについて審議を行いました。反対の立場から、雇用面を中心に教育関係の予算があまりにも削られている。今回の予算は、彦根市の歴史・伝統・文化・教育に対して現実的な影響を与える。ICTに関する予算も大きく削減されこれまでの流れと逆行している。また新市民体育センターの建設や金亀公園整備等の大型事業を市民に等しく使われる予算に見直せば、必要なところに予算を回せる等の討論がありました。また賛成の立場から、予算を止めることは市政運営や、さまざま市民生活に及ぼす影響が大きいなどの討論がありました。採決の結果、反対多数で否決となりました。

▼本件にかかる審議結果

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件 名	結果	辻 真理子	獅 山 向洋	北 川 元氣	谷 口 典隆	夏 川 嘉一郎	小 川 喜三郎	赤 井 康彦	安 藤 博	八 木 嘉之	矢 吹 安子	奥 野 嘉己	野 村 博雄	小 菅 雅至	和 田 一繁	上 杉 正敏	中 野 正剛	山 内 善男	山 田 多津子	杉 原 祥浩	長 崎 任男	安 澤 正勝	安 居 正倫	西 川 正義	馬 場 和子
議案第3号		平成31年度(2019年度)彦根市一般会計予算	否決	●	●	●	●	○	○	○	ー	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●

3月28日に開催した3月臨時会の結果についてお知らせします。

平成31年度暫定予算を原案のとおり可決しました。



議案第64号に対して3名（辻真理子議員、獅山向洋議員、和田一繁議員）から個人質疑がありました。

3月臨時会 議案の審議結果

（○：賛成 ●：反対 —：議長）

項目	番号	件名	結果	辻真理子	獅山向洋	北川元氣	谷口典隆	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤勝	安居正倫	西川正義	馬場和子
議案64号		平成31年度(2019年度)彦根市一般会計暫定予算	可決	●	●	●	●	○	○	○	一	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○

暫定予算とは？

年度開始までに本予算が成立しない場合に、本予算の成立までの空白期間をつなぐために組んだ予算のことです。

例えば、人件費や市民サービスへの影響が大きいと考えられるもの（福祉医療費助成事業などの社会保障にかかる経費）等が含まれます。

議会 運営 委員会

先進地
視察報告

南足柄市は、平成26年にタブレット端末の導入について議会運営委員会として検討を開始され、同年12月に使用上の内規を作成しタブレットを各議員に配布されました。平成27年2月には、使用基準案を適用し本会議、委員会で使用することを決定。4月の統一地方選挙の執行後、新人議員を含め、タブレットの使用説明会を開催。（議員の操作研修会は計3回実施したとの事でありました。）

海老名市は、託児サービスや手話通訳の制度を導入されており、託児サービスについては、利用料金は無料で託児時間は2時間以内とし、6か月から未就学児のお子さんを対象にされており、託児依頼があった場合に社会福祉協議会に依頼し、保育ボランティアなどの方々が

対応していただけるとの事でありますが近年、両制度の活用実績はないとの事でありました。

視察日：1月30日、31日

- ・神奈川県南足柄市議会
「議会運営全般とICT化後の議会運営について」
- ・神奈川県海老名市議会
「議会運営全般と傍聴者の対応について」



▲南足柄市議会視察の様子

議会 改革特別 委員会

先進地
視察報告

東村山市議会の議会基本条例の検証は2年に1回行っており、10回程度議論を重ね、1条ごとにA～Eの5段階で会派ごとに評価して意見集約し、議会としての一定の自己評価を議会だよりに掲載されています。また、議会報告会で市民アンケートの形式で、できている、できていないなどの意見を参考に議論し、その結果により評価をされています。

厚木市議会の議会改革全般の取組については、全会派から選出された委員により議会の在り方検討委員会を設置し、細部にわたり検討した内容をホームページや市議会だよりに掲載し、市民への周知を図っておられます。

基本条例の検証方法や通年の会期、検証方法や検証結果を市

民に示し、アンケートをとられるなど、市民に開かれた議会を目指す本市にとって大変参考になりました。

視察日：2月7日、8日

- ・東京都東村山市議会
「議会基本条例の検証について」
- ・神奈川県厚木市議会
「議会改革全般について」



▲厚木市議会視察の様子



第20期の議員

編集後記

2月定例会では、平成31年度の市政運営の根幹となります各会計当初予算をはじめ、平成30年度各会計補正予算、各種条例などの議案について審議いたしました。彦根市議会史上初めて一般会計当初予算が否決となりました。そこで3月臨時会で4月から7月までの暫定予算を可決いたしました。市議会としては、当初予算の編成において枠配分方式が採用され、大型事業には予算配分されていますが、市民に直接影響のある87事業11億7千万円が減額された予算を認めることができませんでした。

市民の皆さまには、市民に寄り添った予算が再度提出されるまで、多大なご迷惑をお掛けすることとなりますが、二元代表制の議会として判断させていただきます。たださましたことにご理解を賜れば幸いです。

彦根市議会議長 安藤 博



次の定例会は 6月です

本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
6月10日(月)	開 会	9:00
6月17日(月)	個人質問	9:00
6月18日(火)		
6月19日(水)		
6月21日(金)	予 算 常 任 委 員 会	9:30
6月24日(月)	市民産業建設常任委員会	9:30
6月25日(火)	企画総務消防常任委員会	9:30
6月26日(水)	福祉病院教育常任委員会	9:30
7月 1日(月)	閉 会	9:00

議会の傍聴は事前申込み不要です。お気軽にお越しください。